

栃木DARC 20周年記念フォーラム

ADDICTION PARADOX



「幸せになろうも」

栃木DARCの活動も皆様のおかげで20周年を迎えることができました。
 今回のフォーラムでは「依存症を逆説的に考える」をテーマに、回復支援施設としての歩みと活動、今後のありかたを皆様と分かち合えればと思います。
 ぜひ、ご参加ください。

2023
2/18
 sat

基調講演

埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬暢也 医師



1986年 順天堂大学医学部卒業/同大精神科入局
 1990年 埼玉県立精神保健総合センター開設と同時に勤務
 1995年 同センター依存症病棟に配属
 2008年 埼玉県立精神医療センター副病院長

専門分野：依存症・中毒精神病の臨床
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員
 日本アルコール関連問題学会理事 埼玉医科大学客員教授
 日本アルコール・アディクション医学会監事
 日本精神科救急学会代議員 関東甲信越アルコール関連問題学会理事
 著書 「アルコール依存症治療革命」「薬物依存症の回復支援ハンドブック」
 他多数

● 入場無料 ●

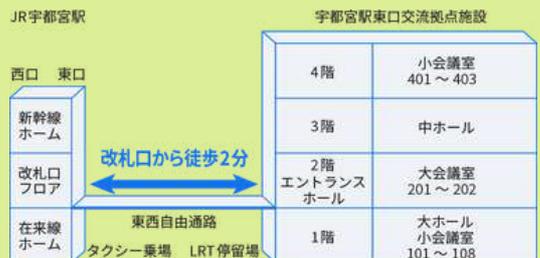
日時：2023年2月18日（土）
 10:00開演・16:00終了

場所：宇都宮駅東口交流拠点施設
 （ライトキューブ 中ホール）
 栃木県宇都宮市宮みらい1-20

主催：特定非営利活動法人 栃木DARC

後援：栃木県・下野新聞社・宇都宮保護観察所

MAP



● お問い合わせ：栃木DARC (担当・大吉) TEL：028-666-8536 ●



栃木DARC 20周年記念フォーラム

ADDICTION PARADOX -幸せになろうよ-

プログラム

午前の部

9:30	受付開始
10:00	開演・来賓挨拶
10:20	活動報告
11:10	講話 茨城ダルク 岩井喜代仁
11:40	合唱・カホン演奏
12:00	昼食

午後の部

13:00	基調講演 埼玉県立精神医療センター副病院長 成瀬暢也
14:00	休憩
14:15	パネルディスカッション
15:50	閉会の言葉
16:00	閉会の挨拶

シンポジウム

パネルディスカッション：テーマ 『リカバリーデザイン』

パネラー紹介

嶋根 卓也	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 心理社会研究室長
白川 雄一郎	一般社団法人 千葉ダルク代表理事
成瀬 暢也	埼玉県立精神医療センター副病院長
山本 聡史	株式会社 小学館集英社プロダクション 喜連川社会復帰促進センター教育業務責任者
栗坪 千明 (司会)	特定非営利活動法人 栃木DARC代表理事

～ お知らせとお願い ～

事前参加申込の受付はありません。当日、直接会場にお越してください。
車でお越しの方は駅周辺のコインパーキングをご利用ください。
お弁当の注文は承っておりません。会場周辺の飲食店をご利用ください。
新型コロナウイルス感染拡大に配慮して会場作りをおこなっています。
マスクの着用、アルコール消毒にご協力ください。

